

1985(毎月1回発行)

11月号

(村の面積)

332.60km²

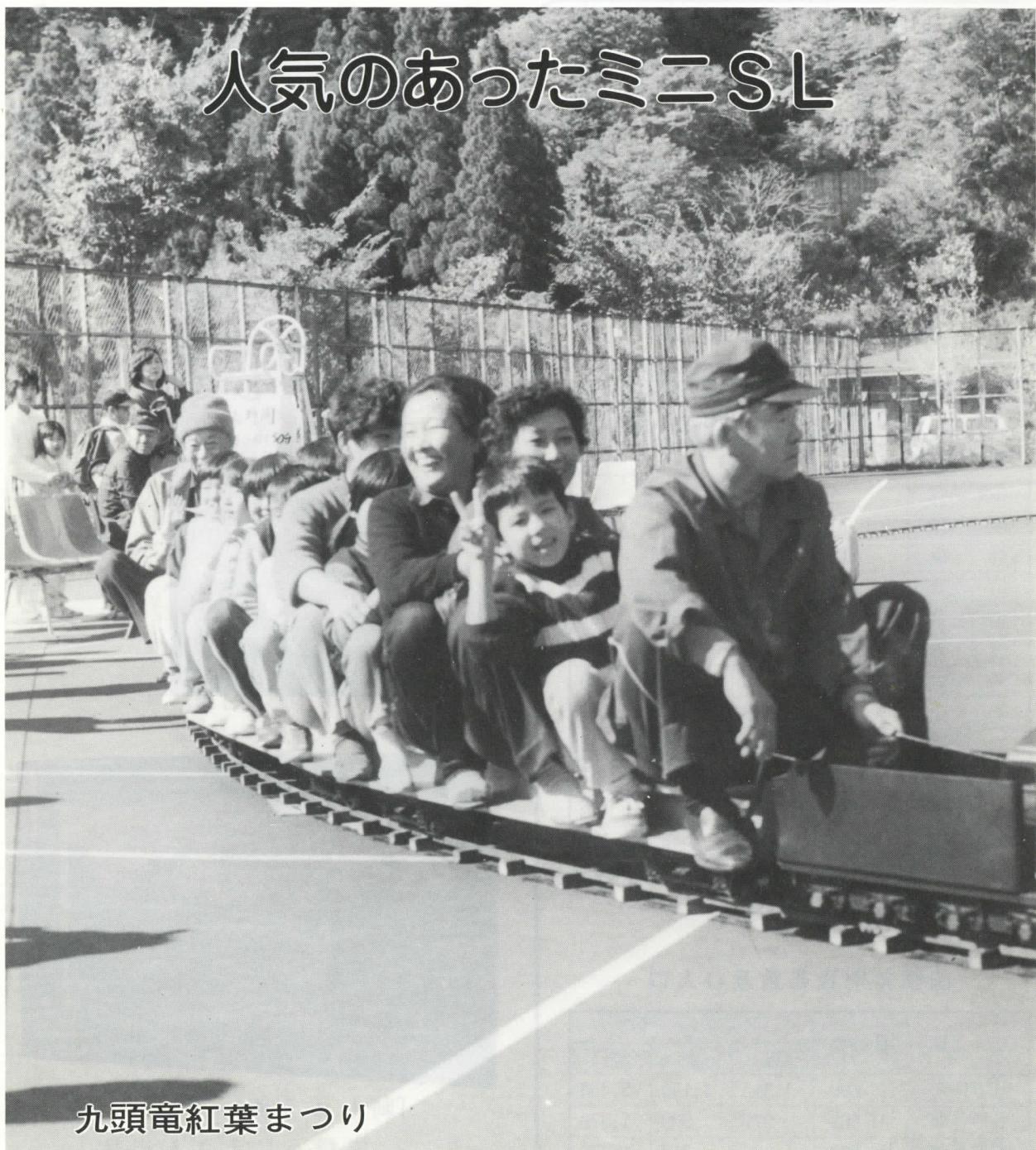
発行所 福井県大野郡和泉村

広報 いすみ

(昭和60年11月1日現在)

村の人口

総人口	1,211人
男	622人
女	589人
出生	0人
死亡	0人
転入	13人
転出	16人
世帯数	390世帯



みんなで越美北線を利用しよう。

盆栽コーナー



す。区別人口は、別表のとおりです。今回の調査では、世帯数四〇、人口一、一九二人と前回調査に比べて、世帯数で八二、人口で二八六が減少。地

五年に一度の国勢調査も皆様のご協力により、無事に調査を終えることができました。ご協力ありがとうございました。

60年国調人口は 一、一九一人

地区別世帯数及び人口

(60年10月1日 国調)

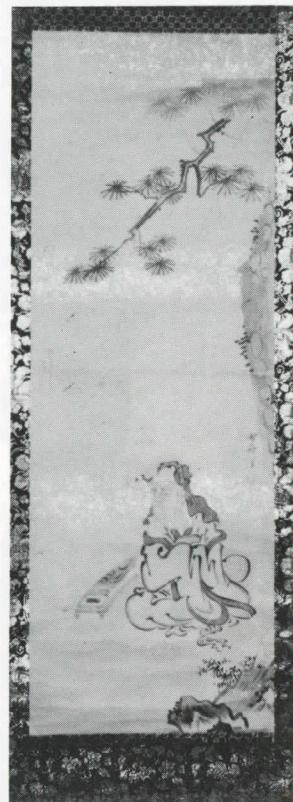
地区名	世帯数	人口			計
		男	女	計	
前目前坂	3	4	5	9	
角野前坂	4	4	5	9	
後野	14	18	14	32	
貝皿	12	23	22	45	
川合	20	34	30	64	
朝日	124	178	189	367	
板倉	9	13	12	25	
角野	8	8	12	20	
下山	28	49	57	106	
下大納	6	6	6	12	
上大納	178	237	220	457	
その他	34	36	10	46	
合計	440	610	582	1,192	

②……後日総務庁統計局で公表する結果とは異なる場合があります。

国調年別世帯数及び人口

年別	世帯数	人口			計
		男	女	計	
45年	690	1,313	1,140	2,453	
50年	569	977	902	1,879	
55年	522	766	712	1,478	

第十二回連合作品展が十一月一日から四日間、農林業者トレーニングセンターで開かれました。会場には、子供たちの図画や習字などをはじめ、一般の方の盆栽、生け花、絵画など七十点以上の作品を展示。さらに今年は、所蔵品展を設け刀剣や掛け軸なども展示され多数の方が参観されました。



「掛け軸」
原源藏さん出品



「刺しゅう画」
木嶋ふじえさん出品

第12回 連合作品展

盆栽など数多く展示



出荷の準備をする後野婦人グループ



テープカット



ミス紅葉と記念写真

村では、十月下旬より特産「穴馬カブラー」の出荷が始まり、各地区では寒いなか、カブラーの水洗いにおわれています。

このカブラーは、昨年より高冷地野菜を特産にと村林産物生産促進組合が中心となってして、前坂、後野地区で栽培した「穴馬カブラー」約二トンを福井県民生活協同組合へ出荷。今年は、このほかに各地区で栽培した「穴馬カブラー」

十トンを生協やスーパーなどに、随時出荷する予定であります。

「穴馬カブラー」本格的に出荷 料理方法を広くPR

促進組合では、市場関係者に「穴馬カブラー」をお一層PRするため、カブラーを使ったサラダやクルミあえなど料理方法のパンフレットを作成

して生協やスーパーなどに配布。また調理講習会を開くなど、本格的に「穴馬カブラー」の普及に取り組んでいます。

一二万七千人が訪れる紅葉まつり盛大に開催

第六回九頭竜紅葉まつりが十月二十六、二十七の両日、

九頭竜国民休養地を中心に盛大に開催されました。

この両日、県内外から約二万七千人が訪れ、ミス紅葉とならんで記念写真を撮ったり紅葉市場で買物をするなどして、会場内をにぎわせました。



親子でにじます釣り

国際青年の船に参加して

広大なソビエト

中内雅希代（22歳）

どこまでも続く水平線……
澄みきつた空、青い海、ジエ
ルジンスキイ号は、ロシアの
大地へと向けて……。

今回の二週間にわたる研修
は、私にとって社会主义国、
ソビエトという国に対する印象
を変えると同時に、世界の
広さを、痛感させられた。

まだ見ぬ未知の国、ソビエト。
初めての船出。期待と不安を胸いっぱいに秘め、シベ
リア大陸に足を踏み入れたのは、日本を出航してから、約
三十時間後の現地八月十六日
の夕刻六時を少し回ったころ
である。

ナホトカからハバロフスク
へと十六時間のシベリア鉄道
の旅。そして、一路モスクワ
へと、七時間もの空の旅。思
つたほど、機内では外を見た
りすることが自由であった、

というのも、かなりの上空を
飛行しているので、下は雲の
じゅうたんでしかないからだ

どうでしょう。私たち、日本
では、考えられないほどで、
十数年前の日本を見ているよ

うである。

うである。

社会主義国、国営がほとん
ど、そのうえ、軍備技術がめ
まぐるしく改革されているの
で、飛行機、列車、自動車な
ども、もっと技術がなされ
いるのかと思った。しかし、

社会主義国、国営がほとん
ど、そのうえ、軍備技術がめ
まぐるしく改革されているの
で、飛行機、列車、自動車な
ども、もっと技術がなされ
いるのかと思った。しかし、
時間が対しても、とてもル
ーズである。九時にバスを待
ついても、十時になつても
来ないのが普通になっている
ようだ。

しかし、そんな中、感心さ
せられたのは、地下鉄網の普
及である。国営となつてある
ので、ソビエト国内、どこへ
行くのも五カペーク、日本円
に換算すると、わずか十五円
程度である。それでいて地下
道は、ルネサンス文化を思わ
せるようなみごとな彫刻、シ
ヤンデリア。目を見張らせて
くれるものばかりである。

モスクワを出て、ここ、オ
デッサに着いたのは、四日目
の十九日のことである。
オデッサも、日の暮れるの
は遅く、午後九時を過ぎても
日本の夏の夕方五時ごろの明
るさで、並木通りは人、人、
人。

浴衣姿で訪問した私たちを
あたたかく迎えてくれた街の人々。
石畳と、街路樹が立ち
ならぶ舗道に、犬を連れて散
歩する老夫婦。山頂に建つ、

今回の国際青年の船に参加
することに対し、多くの人たち
の協力を得て、無事、良
き研修をさせていただきまし
た。ほんとうにありがとうございました。
この体験をひど
い心のかてとして、また、
広い目で国際的視野に立つて
一青年として、がんばってい
きたいと思います。



ナホトカ駅にて

古びたチャペルのあるエレバ
ン。そして、大きなトマトや
ぶどう、すいか、リンゴなど
日本では考えられないほどの
庶民的な朝市。

広大なソホーブを持つトビ
リシ。大量生産だけを中心と
した国営農場には、日本から
見れば、消費者として不思議
なことばかりである。品種改
良など、一部でしているだけ
だそうである。

そんな中、市民たちは、お
おらかで日本のようになくせ
くと働かないで、自分たちの
余暇というのを十二分にとつ
て生活している。一見、この
ようなところが社会主义国ソ
ビエトの学び得る長所だと思
つた。

7つの新記録生まれる

第13回和泉駅伝

九頭竜の山々の紅葉が色あざやかななかで、第十三回和泉駅伝が十一月三日行われました。

この日は、小学生五チーム中学生六チーム、一般三チームが参加。黒谷グラウンドから役場前までの全長九・五kmに熱戦を展開した結果、七つの新記録が生まれました。主な成績は次のとおりです。

(敬称略)

総合成績

小学校		
優勝	大納小A(坂井、土屋、氏家、氏家、山崎)	35分12秒
中学校男子		
優勝	2年(河元、西野、長島、吉本、原田)	32分35秒
中学校女子		
優勝	1年(坂井、中村、吉岡、村上、吉本)	38分21秒
一般		
優勝	中竜(塚本、三村、西野、道願、佐々木)	34分12秒

個人別区间賞

	小学校	中学校男子	中学校女子	一般
1区(1.7km)	尾崎 明人 (朝日小)	5分54秒 (新)	河元 光春 (2年)	坂井 加奈子 (1年)
2区(1.6km)	土屋 哲史 (大納小)	5分38秒	西野 和美 (2年)	池尾 敦子 (3年)
3区(2.3km)	氏家 稔 (大納小)	8分30秒 (新)	長島 友治 (2年)	吉岡 則子 (1年)
4区(2.4km)	氏家 孝 (大納小)	8分37秒	吉本 正和 (2年)	須甲 千鶴 (3年)
5区(1.5km)	山崎 瞳 (大納小)	6分07秒	宮城 秀一 (3年)	吉本 亜紀 (1年)

人権週間を ご存知ですか

十二月四日から十日まで「第三十七回人権週間」です。今回の強調事項は、次のとおりです。

お互いに相手の立場を考え

豊かな人間関係をつくろう。

地区差別をなくそう。

婦人の地位を高めよう。

障害者の完全参加と平等を実現しよう。

いじめをなくして、明るい

旧軍人・軍属および戦没者の遺族の皆様へ

県では、旧軍人、軍属とくに戦傷病者および戦没者の遺族に対する援護のより一層の充実をはかるため、援護に関する相談を次の日程で行いますので、ご利用ください。

相談の対象となる範囲に恩給に関すること。

②戦傷病者、戦没者遺族などの援護に関すること。

③叙位、叙勲に関すること。

④未帰還者の調査に関するこ

と。

⑤その他旧軍人、軍属の援護

最低賃金のお知らせ

福井県最低賃金が九月三十日から、次のとおり改正され

ました。

一日 三、三七二円
一時間 四二二円

友だち関係をつくろう。
村人権擁護委員では、家庭内や近隣とのもめごと、いじめに関することなど相談を受けていますので、いつでもお気軽にご相談ください。

相談はすべて秘密を厳守いたします。

長岡 昇一 上大納

中内 智利 朝日

平野まさえ 川合

11月25日(月)

9時30分~15時

大野市有終会館

〔団体戦〕

(敬称略)

- 男子優勝
— 東 まゆみ
- 40歳以上
— 道願武次郎
- 女子優勝
— 内田 亮
- 男子優勝
— 上大納チーム
- 女子優勝
— 中竜チーム
- 男子優勝
— 「個人戦」
- 男子優勝
— 上大納チーム
- 男子優勝
— 中竜チーム

男子団体優勝は上大納チーム

第14回村民卓球大会

第十四回村民卓球大会が十一月六日、農林業者トレーニングセンターで男子五チーム女子三チームが参加して行われました。結果は次のとおりです。

（敬称略）

俳句・短歌コーナー

全山に紅葉燃ゆる峠の里
今一刻の秋を惜しまん
生き甲斐求めて趣味を楽しむ
淡淡と過去を語りし其の人の
瞳は今も情熱に燃ゆ

とみ子

【俳　句】
特産の穴馬かぶらに紅葉映え

厚　　子

料水に混入する事件があつて
おり、本県でもこれが原因で死亡事故が一件発生しました。

このような事故が二度と発生しないよう農薬を扱う人は次のこと気につけて安全使用につとめてください。

◆農薬は必ずその農薬名のはいったビンや袋で保管する。少し残った液は、牛乳ビンやジュースの空かんなどに絶対

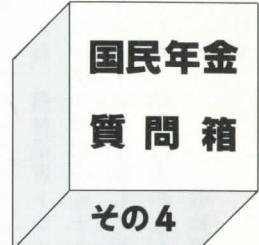
国民年金に任意加入していなかつた者の年金はどうなりますか？

答　　1. サラリーマンの妻は、これまで国民年金は適用除外とされており、希望適用法により六

十一年四月一日以後は二十歳以上六十歳未満である人は、

国民年金に任意加入していませんが、この資格期間をみると場合の対象になります。しかしながら、この期間については、年金額の計算の対象とはならない、いわゆる「カラ期間」です。

3. 基礎年金は社会保険方式による給付ですから加入実績



強制加入することとなりました。
老齢基礎年金の受給要件は、原則として保険料納付済みなどを合算して二十五年（昭和五年四月一日までに生まれた人については、生年月日に応じて資格期間が短縮されます。）あることが必要とされています。

サラリーマンの妻で今まで国民年金に任意加入していなかつた者の年金はどうなりますか？

これは、夫である厚生年金の受給者に生計維持される妻がいる場合には、配偶者加給がされることになっていますが、この加給部分は妻が六十五歳になった時点で打ち切れ、今度は妻自身の老齢基

（注）施行日に二十歳未満の妻の場合は、振替加算はゼロになります。

4. 夫、妻ともが六十五歳となり、老齢基礎年金を受給するまでの間の年金額については、七十四年度から特別加算が行われます。

◆天ぷらを揚げるときは、その場を離れない。
◆家のまわりに燃えやすいものを置かない。
◆ふろの空だきをしない。
◆ストーブの付近や上には衣類、洗たく物をつらない。
◆ストーブに火をつけたまま灯油の給油はしない。

農薬の安全使用について

移しかえないこと。

◆農薬は必ず鍵のかかる場所に保管し、子供や老人などが手に触れられないよう保管管理を徹すること。

|| 人のうごき ||

(敬称略)

▲おめでた

氏名

住所

上大納

刀禰 利明

荒川佐恵美



秋の火災予防運動

11月26日～12月2日

基礎年金へ加算されるという仕組みです。
この振替加算と、施行日以後の加入期間にもとづく老齢基礎年金の額を合わせたものが、妻自身の老齢基礎年金として支給されます。

（注）施行日に二十歳未満の妻の場合は、振替加算はゼロになります。

4. 夫、妻ともが六十五歳となり、老齢基礎年金を受給するまでの間の年金額については、七十四年度から特別加算が行われます。

◆天ぷらを揚げるときは、その場を離れない。
◆家のまわりに燃えやすいものを置かない。
◆ふろの空だきをしない。
◆ストーブの付近や上には衣類、洗たく物をつらない。
◆ストーブに火をつけたまま灯油の給油はしない。

を給付に反映させるのは当然ですが、このため、今までに国民年金への任意加入期間がまったくない人は、低額の老齢基礎年金にしかなりませんので、経過的に加算する制度（振替加算といいます。）が設けられています。

これは、夫である厚生年金の受給者に生計維持されている妻がいる場合には、配偶者の受給がされることになっていますが、この加給部分は妻が六十五歳になった時点で打ち切れられ、今度は妻自身の老齢基礎年金へ加算されるという仕組みです。

この振替加算と、施行日以後の加入期間にもとづく老齢基礎年金の額を合わせたものが、妻自身の老齢基礎年金として支給されます。

（注）施行日に二十歳未満の妻の場合は、振替加算はゼロになります。

4. 夫、妻ともが六十五歳となり、老齢基礎年金を受給するまでの間の年金額については、七十四年度から特別加算が行われます。

◆天ぷらを揚げるときは、その場を離れない。
◆家のまわりに燃えやすいものを置かない。
◆ふろの空だきをしない。
◆ストーブの付近や上には衣類、洗たく物をつらない。
◆ストーブに火をつけたまま灯油の給油はしない。